

支部だより

NO 67

令和 8 年 1 月

(一社)東北電気管理技術者協会

山形県支部



鳥海南バイオマスパワー株式会社「鳥海南バイオマス発電所」

～ 目 次 ～

支部長のご挨拶	支部長 須貝 一彦 … 1
業績者表彰10年の受賞者	新庄地区 星川 浩 … 2
失敗は成功のもと	新庄地区 佐藤 信也 … 3
元気のみなもと	山形地区 佐藤 浩基 … 5
おすすめスポット地元自慢	置賜地区 高橋 久徳 … 7
我が家の宝物やこだわり自慢	天童寒河江地区 大内 正夫 … 8
新会員のご挨拶	山形地区 小林 雅彦 … 9
〃	天童寒河江地区 藤澤 勝 … 11
〃	新庄地区 早森 敬 … 12
〃	山形地区 三宅 亮輔 … 13
社会貢献事業（電気使用安全講習会）	鶴岡地区 菅原 俊一 … 14
令和7年度支部総会・研修会報告	広報委員 石山 昭人 … 21
山形県支部会員の動き	広報委員 石山 昭人 … 26

表紙のことば

鶴岡地区 NO,1044 佐藤 喜久雄

昨年2024年11月2日から商業運転を開始した酒田共同火力発電所の近くに位置する鳥海南バイオマス発電所（山形県飽海郡遊佐町）の紹介写真です。山形県支部第三回研修会翌日の令和7年11月21日に東北電力株式会社様のご厚意により施設研修会企画で見学の機会を頂きました。ここで、事業計画概要をご紹介記載させていただきます。

項 目	事 業 計 画 内 容
事業地点	山形県飽海郡遊佐町（鳥海南工業団地内）
事業会社	鳥海南バイオマスパワー株式会社
出資会社	東北電力 75%、静岡ガス&パワー10%、オリンピック 15%
事業内容	バイオマス専焼発電事業所
使用燃料	輸入木質ペレット・PKS（約22万トン/年）
燃料輸送	古湊ふ頭～発電所（約6.4 km）
工 期	着工：2021年6月、運転開始：2024年11月

～ 新年の挨拶 ～

山形県支部 支部長 須貝 一彦

新年、あけましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。新年にあたり、山形県支部会員の皆様には、日頃より支部の諸活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

一昨年は、能登半島での地震災害、そして当県北部での広範囲に渡った豪雨災害により多くの尊い命が奪われた悲惨な出来事が発生してしまいました。

昨年においては、幸いにして大きな目立った災害は、起きなかったように思われますが温暖化が確実に加速しており、生態系他あらゆる面への悪影響が懸念されます。また、熊の出没が全国的かつ日常茶飯事で発生しております。私が住んでいる南陽市に於いても、先頃小学校の正面玄関に現れ、玄関のガラス戸を破壊、そして、その後、市の職員が襲われ重傷を負うという悲惨な事件が起きてしまいました。冬眠の時期、12月に入ってもいまだ安心出来ない状況が続いています。これも山に食べ物が不足している、気候変動の影響なのでしょうか。今年こそは、穏やかで健やかな一年となりますよう、切に願っております。

さて、昨年の支部活動につきましては、4月の南陽市内御殿守での支部通常総会、7月は山形国際交流プラザにおいて第2回研修会、そして11月には、鶴岡市湯野浜温泉 KAMEYA HOTEL での臨時総会及び第3回支部研修会に於きましては、大勢の会員の方々にご出席をいただきまして、それぞれ無事開催することができました。また、9月には天童ホテルにて、宮城県支部と合同での定期研修会についても、ほぼ全員の出席を得まして、成功裏に無事終了することができました。

深く感謝申し上げます。

支部長就任後、もうすぐ2年になりますが、不備な点多々あったと実感しております。何卒ご容赦の程お願いをいたします。また、いろいろとご指摘をいただきながら次に繋げていければと思っております。

令和8年度におきましても、例年通り4月の支部通常総会、7月の第2回研修会、そして、11月の第3回支部研修会をそれぞれ開催するよう進めてまいります。さらに、本年は本部主催の「電気保安教育研修会」が7年ぶりに当県が開催県になります。正会員全員参加を目標に進めて参りたいと存じます。支部主催の通常の催しに加え電気保安教育研修と皆様方には、益々ご負担を強いることになり、ご多用の折り誠に恐縮ではありますが、ご理解をいただきまして、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、昨今の電気3大事故の発生状況については、減少傾向にあるようですが、いまだに短絡接地を取り外ししない状態での電源投入による波及事故が報告されております。様々な要因が推察されますが、真因を特定するには、なかなか難問で答えが見つかりません。皆様はいかがでしょうか。何れにしても、予防保全の観点から需要設備の更新計画、電気室やキュービクル内への小動物の侵入、受電柱やキュービクル廻りの雑草、ツル等による事故の未然防止に留意され、無事故、無災害を継続できるよう願っております。

最後に、山形県支部の更なる充実を図りたく、会員各位におかれましては、今後共より一層のご理解、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。そして、皆様の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ新年の挨拶いたします。

業績者表彰

「10年表彰について」

新庄地区 NO,839 星川 浩

10年表彰の原稿依頼を受けまして、10年目の実感が無い自分に改めて気づく次第です。父の業務の継承ということで仕事を始めました。

父は倒れるまで元気に仕事をしていたので、まだまだ先の話かと思って他の仕事を主にしていたのですが、父が突然体を壊し入院してしまい、急遽管理業務を引き継ぐことになりました。

父の管理内容もあまり把握していなかったし、管理先の検査手順もよくわかりませんでした。父が倒れた後、地区の先輩に代行をお願いして、見習いから始めました。

研修などにも参加しましたが、検査機器の使い方もなかなか難しいものでした。

いまだに自信が無いところがあります。

管理先の件数も少ないし、小さい設備のところが主でしたので、簡単な作業を毎月数日の稼働だけで、仕事をしてきたところです。だからかもしれませんが、いまだに見習い気分がどこかにあります。

見習いなので、教えられた通りに作業してきたからでしょうか、幸いにも事故などはいまだにありません。

今の仕事の基本知識は、先輩の指導のおかげです。

積極的に現場での指導や、見学の機会をたくさん作っていただいた先輩に今も感謝しております。

10年の実感は無いのですが、当初購入した測定器の購入日を見ると納得してしまうところ です。

経験が浅いので私から後輩を育てることはできませんが、今後も事故などが無いように、先輩の教え通りに仕事をしていきたいと思っています。



失敗は成功のもと

「復電前の最終チェックは確実に！」

新庄地区 No.840 佐藤 信也

数年前になりますが、ある事業場の月次点検をいつものように実施しました。私の月次点検のルーティンは、到着したらお客様に挨拶、受電柱の WH メーターの検針、SOG 制御装置の電圧電流測定、キュービクル内の各種測定、事業場内の低圧盤等目視巡回、報告書作成提出という流れです。

その中のキュービクル内の各種測定の際、変圧器、高圧進相コンデンサの温度測定後、高圧受電電流、高圧進相コンデンサの電流を高低圧クランプリーカー(写真 1)で測定した時の事です。



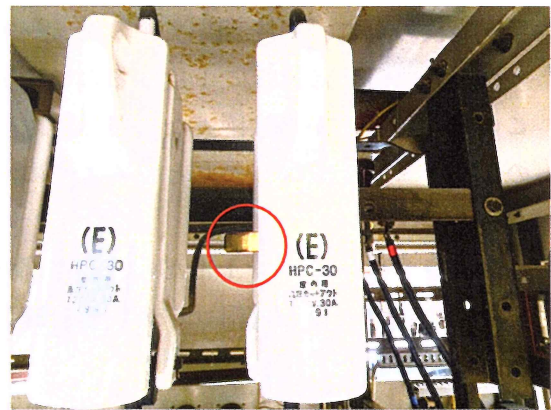
写真 1

高圧進相コンデンサの電流が 1 相だけ 0A でその他の相は定格通りの電流が流れていました。今までそのような経験がなく、クランプリーカーの不具合かと思い、何度か測定しても、結果は同じでした。

コンデンサの不具合を疑いながらも、何かがおかしいと周囲を見回してみると、コンデンサ直上の、プライマリカットアウト(以降 PC)からヒューズの刃が飛び出ていました(再現写真 2、3)。



再現写真 2



再現写真 3

なぜこのような状況になってしまったかという事ですが、年次点検を実施した際に PC 内のヒューズを外し、目視点検後ヒューズを PC に戻し、PC を通常状態に復旧する時

にヒューズの刃が横を向いたまま復旧してしまい、気付かずに受電してしまったのが原因でした。

午前中の月次点検だったので、お客様に状況を説明し、昼休みの時間に全停電させていただき、高圧進相コンデンサの高圧絶縁抵抗測定、容量チェック(写真4)等を行い、異常がないことを確認して、ヒューズの刃も定位置に戻し復旧しました。

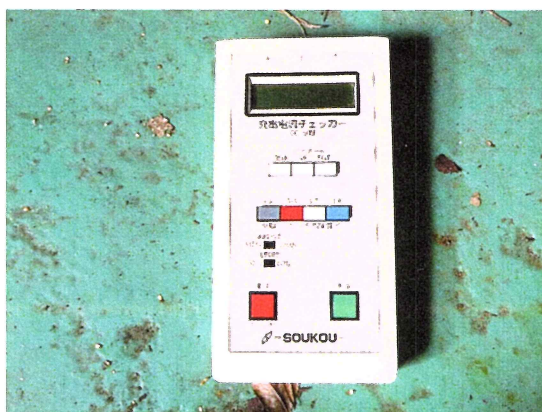


写真4 充電電流チェッカー

年次点検の際に、PCを開いて中のヒューズの確認をするのは数年に1度あるのですが、この失敗をしてからは確実な復旧と復電前の最終チェックはしっかりとするようになりました。

余談を2点ほど・・・1相だけ電流が流れていなくても、高圧進相コンデンサの異音は確認できませんでした。

もう1点は、この失敗以前に他の会員の年次点検のお手伝いに行った時に、停電作業が終わり復電の監視をキュービクル側でしていたら、PAS投入直後、高圧真相コンデンサ直上のPCからジジジッと異音が

聞こえたので、すぐにPAS開放をしてもらって目視点検を行いました。その結果、異音はPCの投入不足が原因でした。PCの開放投入は少し力が必要ですが、投入する際はしっかりゴムに当たるまで押し込みましょう。

現場によって時間が無かったり、休日で時間に余裕のある現場でも、天気が良く、晴れ渡ったりしていると、「仕事するのがもったいない天気だな」と思い集中力を欠く事がありますが、原点回帰、急がば回れの精神で安全で確実な作業を実施するように心がけていきたいと思います。

今日も一日
ご安全に！



元 気 の み な も と

「ランニングで健康ダイエット」

山形地区 会員 No.946 佐藤 浩基

私の元気のみなもとは、ランニングです。ランニングを始めるようになったのは30代も後半になった頃、お腹の肉が落ち難くなってきた自分の体を鏡で見て何か運動をしなければと思うようになったことが始まりです。運動するといっても新しくスポーツを始めるのはたいへんです。自分のペースでしかも初期投資も少なく始められるということでランニングをすることにしました。当時、東京マラソンや山形まるごとマラソンのようなマラソンブームで周りにランナーがたくさんいたことも始める後押しになりました。

最初は家の周りを自分のペースでタイムを気にせずゆっくりと1~2km走ることからはじめました。そのような軽い運動でも全く運動してなかった私の体にはきつかったようで、あちこち痛くなりながらもなんとか継続することができ3km、4km、ついには5kmを走ることができるようになりました。ある程度、ランニングが習慣になってくるとただ走っているだけではつまらないので、GPS付きの時計を購入し走行距離と時間を記録できるようにし、自分なりの目標を立てるようになりました。しかも最初は走れば走るほどタイムが縮まったので、とても楽しくなり俄然やる気アップにつながりました。趣味の一つとしてランニングを続けていた

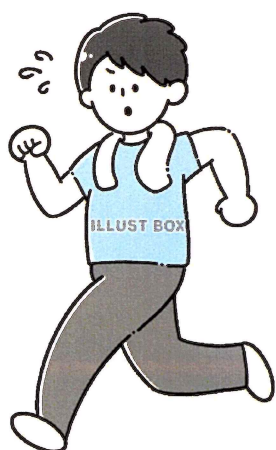
ところ、職場のランニング仲間から山形まるごとマラソンに誘われ、ちょうどタイムも縮まらなくなっていた時だったので新しい挑戦として参加することにしました。

ハーフマラソンを完走する、できれば2時間をきりたいという目標をたてて練習を続け、その結果、なんとか完走し2時間をきることもできました。大会に出るのが楽しくなり、今はなくなりましたが山辺の星降るロードマラソンに続けて参加しました。10km、45分という目標を立ててこちらでもなんとか達成。となかなか自分の中では良い感じに進んでいたのですが色々な事情でマラソンを走っている場合ではなくなりランニングから遠ざかることになりました。

ちょうど10年が経過して、今年ランニングを再開したのですが残念なことに大会に参加できていません。その理由は、過ごしやすい春と秋の休日に大会が開催されるため、仕事の年次点検の多忙時期に重なるからです。何度かエントリーはしたものの当日仕事のためキャンセルといった感じです。10年前に比べ体力は確実に衰えているので難しいとは思いますが、フルマラソン完走、記録更新等、新しい目標をたてていますので、それにむけて今は時間の空いた時にジムに通いランニングを続けています。

最後にランニングを初めるきっかけになった腹周りなのですがランニングを継続することで7cm、体重7kgの減量に成功しました。(健康診断で褒められました。)

もし腹周りの肉を落としたいとか、ランニングに興味がある人がおりましたら私にぜひ声をかけてください。一緒にランニングで健康になりましょう。



おすすめスポット

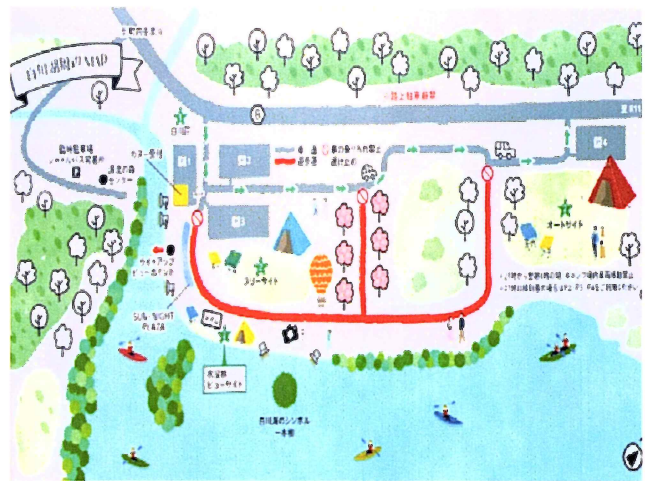
「飯豊町 白川湖」

置賜地区 No.970 高橋 久徳

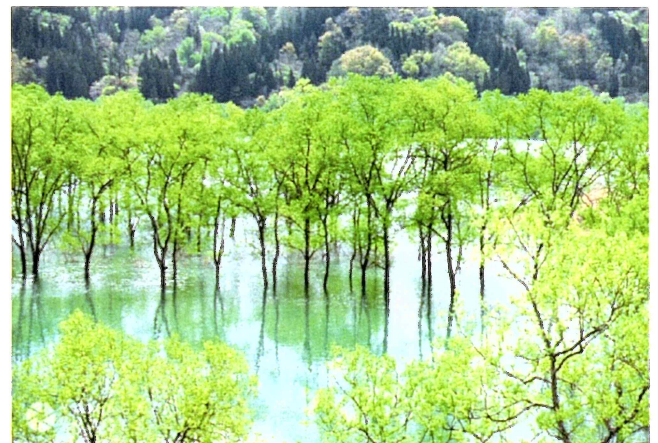
私のおすすめスポットは、飯豊町中津川にある白川湖です。湖岸には公園やオートキャンプ場、白川温泉白川荘などがあります。ここは、季節ごとに移り変わる風景がきれいです。春は、雪解けでダムの水量が増えて水没林の緑と空を映して輝き、とてもきれいです。早朝は、木々に朝露がかかると幻想的な風景が見られます。写真スポットとしても良いところです。満水時期は2か月間しかないのが残念です。桜が咲くころは観光客が来たりして、賑やかです。水没林の間をカヌーを漕いで行くこともできます。秋は、湖畔全体が紅葉できれいな色彩に染まります。夏と冬は、残念ながら行ったことがありません。以前、勤めていた会社のイベントなどでもいつも使用していました。例えば芋煮会などでは、会社全体で鍋をいくつも用意して煮て食べました。煮ている間にソフトボールをしたり、テニス・パトミントンをした楽しい思い出があります。

私の趣味に関連してですが、白川湖畔を一周する白川湖畔マラソン大会がありまして、2度ほど参加したことがあります。湖畔は、アップダウンがあり結構きつかった思いがあります。もう一つの趣味の油絵では、絵画会のメンバーと集まってスケッチに行ったこともあります。その時期は、季節が秋だったと思いますが、紅葉がとてもきれいで、描いていて心が洗われるような気分になりました。ただ風が少し強かったので、寒かったなあと覚えています。

白川荘では、宿泊もできます。一度何かの集まりで宿泊したことがありました。中津川では、どぶろくが有名なので、泊まった時に結構おいしくいただいた思い出があります。他にパークゴルフ・オートキャンプ釣りなどが出来ますので、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



満水期の白川湖（水没林）



我が家の宝物

「毎年訪れる縁起物」

天童寒河江地区 No,690 大内正夫

わが家の宝物は、毎年巣作りにやってくるツバメです。春先4月ごろから夏頃まで小屋に滞在しています。カラスは入ってこないの
で安全快適にすごしているようですが、たまに野良猫が様子を伺っています。

ツバメの巣は縁起物とされ、幸運や繁栄を象徴するといわれています。ツバメが巣を作る家は豊作になるといわれてきたり、商売繁盛の象徴とされてきたりしているそうです。

特に、毎年父が熱心に迎えております。ツバメが通る窓や扉は終日開放しています。ごみや野良猫が入ってきます。毎朝の巣のまわりの糞やごみ掃除が日課です。小屋中が糞やごみだらけになるので近所では、入れないところもあります。ネットで見かけ良さそうでしたので、巣の下に傘を広げ、多少の糞被害を防いでいます。



新会員のご挨拶

「第二の人生のスタート」

山形地区 NO.1053 小林 雅彦

令和6年8月に入会させていただきました。小林雅彦と申します。

まずは、自己紹介をさせていただきます。山形県立山形工業高校電気科を卒業、八戸工業大学工学部電気電子工学科へ進学。卒業後には、上山市にある自動車部品の製造工場で20年間、機械の組み立て、機械保全をやりながら電気設備全般の維持管理を行ってきました。今年で44歳になります。

山形生まれ、山形育ち。妻、子供4人、両親、祖母と9人家族という山形ならではの大家族で、山形市内の西部地区に住んでいます。趣味は、バイク、自転車、車など多趣味です。学生時代には、自転車で青森まで行き東北一周の旅を仲間と共にやっておりました。

協会への入会を考え始めたのは、職場で出会った先輩上司である、会員の鈴木敏明さんとの出会いでした。前職場では、入社当時からたくさんのことを教えていただき今の私を育ててくれたことを感謝しております。定年されたあと東北電気管理技術者協会の会員となり、現場で輝く姿を見ておりました。近くを通ったときは顔を出してください、退職後もたくさんの情報や技術を教えてくださいました。今でも憧れます。

また、年次点検の時には、5～6名もの協会の会員の皆様が、応援に来ていただきプロの仕事を間近に見ることができました。

いつか、私もそんな技術者になりたいと思うようになったのでした。

最初は、賛助会員として仲間に入れていただき、何回か研修会などにも参加させていただき、家族とも話し合い正会員として入会させていただくことになりました。しかし、入会してから数か月間はなかなか厳しい現実がまっておりました。どうやってお客様をもつのか。お客様の所に点検へ行ってどんなことをしたらいいのか。毎日悩んでいた日々でした。

そんな時でした地区研修会へ参加した際に、家に試験の勉強をしに来てみないかと声をかけてくれた先輩がいました。私はすぐ先輩会員のお宅にお邪魔するアポを取り自宅事務所にお邪魔したのでした。模擬的な継電器がおいてあり、試験器を実際に触って一連の流れを手取り足取り教えていただいたこと、大変うれしく思っております。また、お客様を紹介していただいた先輩会員の方には、本当に感謝しかありません。退会された先輩会員の方には、丸一か月同行し、毎日のように現場での説明をしていただきました。年次点検に応援に呼んでいただいた先輩にも、動作原理や構造、間違ったら大事故につながるような基礎をたくさん教えていただいたこと。一年経った今でも今後も忘れることは無いと思います。

約一年が経ち、ある程度の基本点検等ができるようになりました。

大きな事故はありませんが、小さな困り事などをお客様に聞かれたときに解決できると、私もお客様も笑顔でいれることに幸せを感じることができるようになってきました。

私の親しい先輩は「人生は喜ばせ合戦だ」と日々言っていたのを思い出し、いつもそれを意識して仕事に励んでおります。

まだまだ、未熟な技術者ですがわからないことは聞けるうちに聞いて、また自分で調べ日々成長できるように努めていきたいと思っております。

いつか、入会前に見た先輩方のような仕事ができるように成長していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

新会員のご挨拶

「よろしくお願い致します」

天童寒河江地区 会員 No,1063 藤澤 勝

2024年11月末に入会させて頂きました、天童寒河江地区に所属させて頂いております藤澤勝と申します。どうぞよろしくお願い致します。

わたしのこれまでを振り返ると、サラリーマン時代当初、東根市の企業に入社し、プラスチック部品の新機種立上げに係わる業務を担当していました。数年を経過したころから、世の中に携帯電話が普及しはじめ、国内メーカーのT社、F社、C社の受注を頂き（あきらかにキャパオーバー）、納期を守るため遮二無二働いていた頃を思い出します。

勤務し20数年を経過頃に、当時勤務先の主任技術者が定年退職され、その後任で総務に異動になり主任技術者を10年担いました。総務ではISO運用、コンプライアンス対応、会社行事（納涼祭、新年会など）、環境整備などの仕事を担当させて頂き、やりがいを感じつつも仕事に取り組んでいたのですが、定年退職後の人生を考えるようになり、当協会に入会させて頂き、働いてみたいと思うようになりました。定年まで数年ありましたが、宮仕えにも辟易しており、妻の期待を裏切り、会社に惜しまれながら？、なんとか退職することができました。

今振り返ってみると、入会後に様々なめぐり合わせを頂き、わたしここに居させて頂いております。本当に皆様に感謝です、ありがとうございます。

これからお客様のみならず、協会のお役に立てるように取り組む所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新会員のご挨拶

「入会のご挨拶」

新庄地区 会員 No,1075 早森 敬

はじめまして、新人電気管理技術者の
早森 敬（さとし）と申します。

私は現在61才で2025年3月に39年
間勤務した地元のコネクタメーカーを
退職し、6月から本協会にお世話になる
ことになりました。

再雇用制度を使いそのまま65才まで働
く選択肢もありましたが、電気管理技術
者は定年を意識せず活動できることに魅
力を感じ第二の人生を選択しました。

入会に際しては、中学、高専の同級生の
栗田浩二先輩、そして新庄最上地区の諸
先輩方に変にお世話になりました。この
場をお借りしてお礼申し上げます。

前職では33年間主任技術者として選
任されておりましたが、生産管理業務と
兼任していたこともあり受電設備維持管
理の実務は外注することがほとんどでし
た。そのため受電設備の名称、機能程度
は理解しておりましたが、まだまだ実務
に関するスキルが乏しく、これから新し
いスキルや知識を積極的に取り入れてい
かなければならないと実感しております。
またこれまでは発注者側でしたが今後
は受注者側の立場に変わり、お客様から
信頼される電気管理技術者にならなけ
ればならない重責を感じております。幸
い賛助会員のころから諸先輩方から多く
の点検応援依頼を頂き、少しずつですが

知識が身につく成長できるチャンスと感
じると共に皆様方と一緒に働く事がとて
も楽しく感じております。

新たな環境でのスタートは緊張もあり
ますが、誠実に取り組んでいきたいと考
えています。日々学び、責任を持って業
務に取り組んでいくことを心がけ、これ
からも皆様と協力し合いながら、より良
い環境を築いていけるよう努力してまい
ります。

皆様のご支援とご指導をいただきなが
ら、成長していけるよう精進してまいり
ますので、どうぞよろしくお願い申し上
げます。

新会員のご挨拶

「あこがれの電気管理技術者へ」

山形地区 No,1077 三宅 亮輔

私は、山形市内の工業高校の電気科を卒業後、30歳まで様々な職場で働いてきました。その中でも電気に関わる仕事が、最初に就職した電気工事会社・家電量販店の配送、工事会社・そして30歳過ぎから直近まで働いていたビルメンテナンス会社です。

最初の電気工事会社では4年間勤めました。印象的だったのは最後の方に唯一小さな集合住宅兼テナント（低圧）の現場代理人を一件だけ経験したことです。上司や先輩、たくさんの方から助けていただき何とか引き渡しすることができました。

次に家電量販店の配送、工事会社では3年程働きました。ここでは、エアコンの取付と付随して電源工事が主な業務でした。こちらも印象的だったのが夏季繁忙期のエアコン取付で、多い時には一日5～6台の取付を丸二か月間休みなしで行っていたことです。そして全て一人で工事をするということができた。

そして最後に令和7年5月まで勤めていたビルメンテナンス会社では7年勤めました。公共施設や建物・事務所ビルといったところでの設備管理業務です。常駐勤務をして電気設備の日常・月次点検から給排水設備の修理、防災設備の連動試験、更には建物の様々なトラブル対応をしてきました。会社の別部門には電気設備の保安管理を行う部署もあり、大きな物件の年次点検となれば各配属先に応援要請があり、私も積極的に参加しました。主に掃除と接地抵抗・メガ測定でしたが、様々な現場に呼んでいただき作業をさせていただきました。

私は、高校を卒業して20年近く立ちましたが、半分以上は何かしらの形で電気に関わる仕事をしてきました。電気の仕事＝電気工事という認識しかなかったころ電気設備の保安管理という仕事があることを知りました。まずは「電検三種」取得ということで何とか試験に合格し、実務経験を積んで現在に至ることができました。

私は現在40歳で未熟者でございます。今は未だこの業界の右も左もわからない状態ですが、令和7年7月に入会させていただきました。現在まで様々な方にご指導ご鞭撻を頂戴しました事をこの場を借りて深く御礼申し上げます。至らない点多々ございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

社会貢献事業報告 令和7年度電気使用安全講習会

期日：令和7年8月27日 時間：13時30分～ 会場：出羽庄内国際村大ホール

受講者：94名 主催者側参加者：16名 合計110名

「体感する」「体験する」をテーマにした講習会、当日8月27日は夜半より降り続く雨で水たまりのできる悪条件の中開催となりました

会員は午前中早くより集合-会場設営を開始、その後は各人の分担に基づき担当部署に着きました、実演展示会員は成功のため開演時間迄に及ぶ準備を行ないました。



主催者挨拶 東北電気管理技術者協会山形県支部 支部長須貝一彦

本講習会開催の目的-電気設備の技術基準に定められた保安規程にある電気使用担当者保安教育の一環、当協会社会貢献事業として毎年県内各地持ち回り開催されています、鶴岡会場このように多くの皆様から参加頂き開催されることに感謝いたします、今回講師としておいで頂きました鶴岡市消防本部佐藤様、山形県庄内総合支庁環境課進藤様、小林様大変ありがとうございます、今講習内容を受講者皆様の業務に生かして頂けたら幸いです。

講演1.「火災の状況、火災事例と予防」

鶴岡市消防本部予防課係長佐藤永一様

管内で発生した電気器具やコンセントからの出火事例紹介、自身が消火に当たった大船渡山火事の様子ビデオ映像を紹介、急傾斜地、土の中や樹木に残る火だねの多さ、消火の難しさを実感した、又、近年地震での電気出火防止には感震ブレーカー取付が有効であると講演なされました。

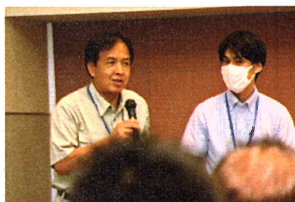


講演2.「低濃度 PCB 廃棄物の調査及び適正処理について」

山形県庄内総合支庁環境課技師進藤圭介様、PCB 適正処理推進委員小林克至様

- 1.低濃度 PCB 廃棄物について
- 2.調査方法・調査手順
- 3.調査後の手続き
- 4.庄内地区の PCB 含有機器処分の状況
- 5.低濃度 PCB 機器処分時の助成金について

自家用電気工作物の変圧器・コンデンサ・遮断機リアクトル、溶接機など、低圧一般用電気工作物ではX線発生装置、検査装置、溶接機、分電盤内部のコンデンサモーター・コンプレッサーに取付られているコンデンサなど機器名盤から製造年月、メーカー



型式を確認すること、コンデンサーは高濃度でなければ分析値がなくても低濃度廃棄物として処分が可能、含有判明すれば届出・保管必要です

令和7年4月1日より中小企業（個人事業主を含む）低濃度 PCB 廃棄物の適正処理支援助成が開始されました、分析費・処理費の補助率2分の1が助成されます
低濃度 PCB 機器はいろいろな場所にある事から取り落ちなく探すことが大事です。

会場後方には自家用お客様などに使用されている機器や材料が展示されました、機器の劣化により取り替えられ外されたものです、高圧ケーブルは端末処理カ所劣化が一目で分かる事故直前のもの、これら展示品について会員が説明、質問に答えました。

休息再開後 講習3.「突然の災害から身を守るために」DVD 上映

講習4.実演展示 *地絡継電器の保護協調 広範囲停電しないために

受電柱に取り付けてある区分開閉器が故障電流を感知すると開閉器が働き電源が停止、故障箇所を切り離します
もしこの開閉器が動作しないと電力会社変電所のスイッチが働き一帯を停電させる「波及事故」となってしまいます、このようにならないために管理技術者が毎月、あるいは隔月毎区分開閉器状態を点検しています

このような状態を再現、故障電流を開閉器2台に流して照明が点灯しているカ所、消灯している範囲が見て分かる展示です。



* 機器アースの重要性、漏電遮断機の動作と復旧方法
電気の使用中に異常が発生しブレーカーが動作して故障箇所の電気を止める事があります、漏電ではブレーカーの黄色ボタンが出ます、赤はショートです、この時、アースがないと電気は人体を通るので最悪死亡する場合があります
アースがあればこれを伝わり人体には多く流れません

ブレーカーが動作したらつまみを一番下まで下げてからあげます、上がらない場合脇に有る小ブレーカーを下げてから入れ直し順に小ブレーカーを入れる手順を説明しました。



終わりに受講者を代表して番号1番のかたに支部長が受講証明書を手渡されました、アンケートを記入し講習会終了です。

山形県支部鶴岡地区 菅原俊一記



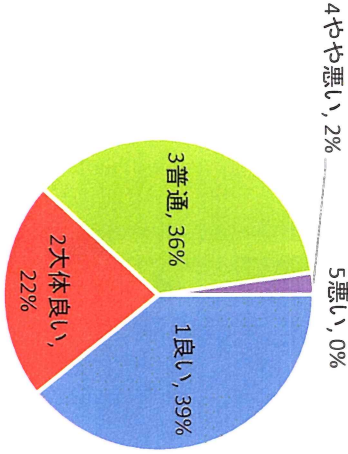
令和7年度 電気使用安全講習会 受講アンケート 集計結果

2025/8/27

全89件

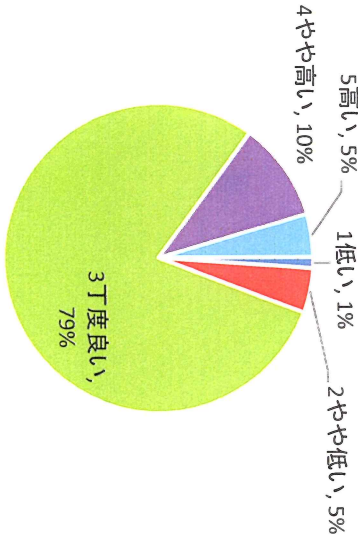
1.会場の運営、雰囲気は？					2.講習会の内容(レベル)は？					3.講習会の理解度は？				4.展示物等どこに使われているか、 どうして事故につながるかわかったか？				5.今後業務に役立ちますか？		
1 良い	2 大体良い	3 普通	4 やや悪い	5 悪い	1 低い	2 やや低い	3 丁度良い	4 やや高い	5 高い	1 よく理解	2 おおむね理解	3 理解できない	1 理解できた	2 説明で理解できた	3 この機材が見たことない	4 理解できない	1 役立つ	2 少し役立つ	3 役立たない	
39%	22%	36%	2%	0%	1%	5%	79%	10%	5%	29%	64%	7%	27%	61%	7%	6%	63%	36%	1%	
計	35	20	32	2	0	1	4	69	9	4	25	55	6	24	54	6	5	56	32	1
																				89

1.会場の運営、雰囲気は？



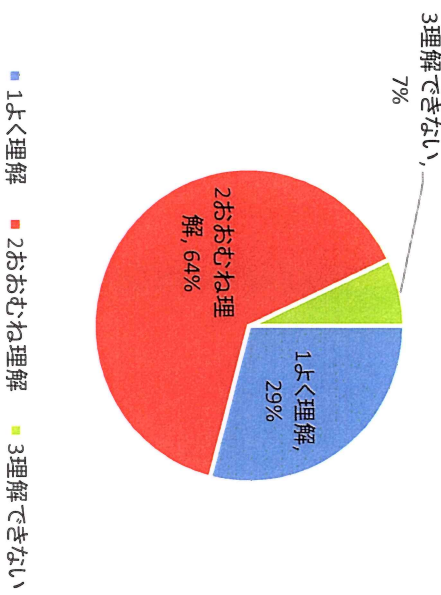
■ 1良い ■ 2大体良い ■ 3普通 ■ 4やや悪い ■ 5悪い

2.講習会の内容(レベル)は？

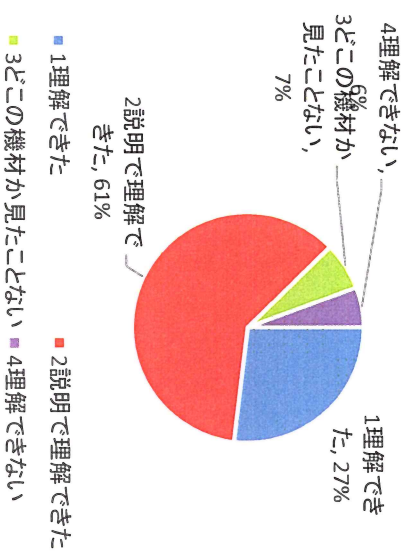


■ 1低い ■ 2やや低い ■ 3丁度良い ■ 4やや高い ■ 5高い

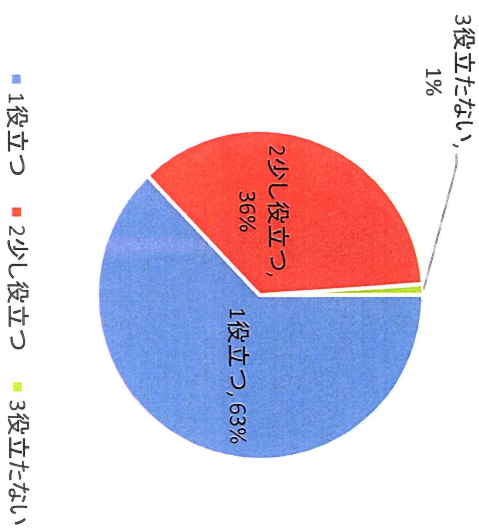
3. 講習会の理解度は？



4. 展示物等どこに使われているか、 どうして事故につながるかわかったか？



5. 今後業務に役立ちますか？



令和7年度 電気使用安全講習会受講アンケート
講習会について悪かった点、感想、提案、質問、次回取り上げてもらいたいこと等

○会場について

- ・外の工事(窓の洗浄)の音がうるさく所々説明が聞こえにくかった
- ・工事中のため騒音が発生していた
- ・駐車場の車を止めるスペースが少なく止められない人がいたのでは？
- ・駐車場の台数と参加者数がオーバーだったのか車を止める所がなく時間がかった
- ・後方の席でしたがスクリーンの字が小さく見づらかった

○火災の状況、火災事例と予防について

- ・火災事例はわかったが各予防については具体的な説明がなかった
- ・講習(1)の火災の状況に関する資料を添付してもらえると社内での周知に活用できると思います
- ・火災の原因については個人でも気をつけられることをやっていきたいと思いました
- ・建物内の電気火災を防ぐよう日頃から注意、心がけが必要と周知したいと思います

○低濃度PCB廃棄物の調査及び適正処理について

- ・低濃度PCB廃棄物について予備知識がなかったためわからなかった
- ・低濃度PCB廃棄物については全く理解できなかった
- ・PCB廃棄物が隠れた所にあるかもしれないので怖いと感じた
- ・PCB廃棄物の処理、開閉器による波及事故はまさに取りかかる内容でよく理解できた
- ・PCB等話を聞けて良かった。実演等わかりやすかった

○DVD「突然の災害から身を守るために」について

- ・資料映像が少々古いのが気になった
- ・最新のDVDがあれば良かったかなと思いました。災害から身を守るための再確認ができて良かった

○実演展示について-1

- ・展示の説明を聞く時間がなかった
- ・実演の段取りが悪かった。よく見えなかった
- ・手際が悪い。発表だけでなく講習会＝勉強会の形で身になる話をお願いします
- ・実演の段取りがあまり良くなかったようです。次回からの実演に期待します
- ・最初の実演の段取りが良くないと感じた
- ・実演の流れ含め理解しにくかった(特に前半)
- ・スクリーンに映している映像の揺れがすごく酔いそうだった
- ・カメラを使用した高圧の説明でカメラワークが悪くわかりにくかった――
- ・スクリーン画像も小さく(スラホ)、また失敗も多くよくわからなかった
- ・実演展示の画像が小さい。スラホ画面ではわかりづらいので次回以降再考してください
- ・カメラは横画面の方が見やすく、ズーム等使うと良い
- ・波及事故の実演について全体も映るような工夫があったほうが良いと思う。わかりにくかった
- ・実演には撮影と説明は別々の人にしたほうが良いと思う
- ・前半の実演が何をしているのか理解しにくかった
- ・波及事故の実演がよくわからなかった
- ・地絡継電器の保護の説明でうまく理解ができなかった
- ・実演展示は何もわかりませんでした。漏電については少し理解できた
- ・実演展示の説明内容がわからなかった
- ・実演展示でどの資料を説明しているかわからなかった
- ・アースはわかりやすかった
- ・波及事故について実際の電気設備に見立てた展示物で説明いただいたがわかりづらかった。ある程度知識がないと理解できない
- ・基本的な電気に関する知識がないので難しかった
- ・基本的な設備についての知識がある前提で話をしているためわからないことが多かった
- ・各設備がどのような役割なのかをもう少し知れたかった
- ・機材の細かい説明があると尚良いと感じました
- ・様々な方向の内容だったので参加者によっては良かったかもしれないがあまり必要と感じない物もありました

○実演展示について-2

- ・理解できないことがあり申し訳ありません
- ・実演デモンストラーションにひと工夫があればよい(見せ方など)
- ・実演は何の実演なのか説明してからすると良いと思います
- ・波及事故の実演については数グループに分けて前の方で見せてもらったほうが良かったかなと思います
- ・カメラによる投影ではなく、直接見たり操作(可能なもの)してみたい
- ・保護協調の説明がわかりにくい。仕組みを教えてほしかった
- ・波及事故の防止の重要性は理解できましたがビデオ等の放映があればよいと思った
- ・高圧PAS開放後の対処方法をもっと詳しく教えてほしかった
- ・工場設備ではSOGや継電器の保護協調の仕組みがわからず詳しく教えてほしかったです
- ・事例紹介をわかりやすく説明してもらえると良いと思います
- ・実際に発生した波及事故や漏電事故の事例の紹介など情報が知りたい
- ・電気関連の工事や交換などは高額になるため助成金などの制度がある場合はこのような説明会的な講習を行っていただきたい
- ・施設設置者(行政)は開閉器や各種ケーブルの更新年限が大きく経過しているのに危機感が足りず予算措置をしない。協会通じた強い指導(リスク管理を持つこと)を要望したい
- ・模型等で初心者でもわかりやすく説明いただき良かった
- ・実演で初めて見ることもあり勉強になりました
- ・実演はおもしろかった
- ・実演が非常に興味深かったです
- ・全体を通してわかりやすかったです
- ・実演展示では失敗もありましたが説明がわかりやすくよかったです
- ・ブレーカー、漏電遮断器の働き、作動時の復旧方法がわかり良かった
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・もう一度今日の資料に目を通し勉強します。ありがとうございました
- ・また機会があれば受講したい
- ・今回初めて参加させていただきましたがとても勉強になりました。また次回も参加させていただきたいと思います
- ・今後も講習会を実施してほしい

総会・研修

令和7年度 山形県支部通常総会
及び第1回支部研修会

日時 令和7年4月24日(木)

会場 上杉の御湯 御殿守(赤湯温泉)

第1部 総会 13:30~14:10

議事

第1号議案 令和6年度事業報告

支部事業(会務)報告

第2号議案 令和6年度収支決算書報告

並びに会計監査報告

第3号議案 令和6年度事業計画(案)

及び予算(案)承認の件

※議案は賛成多数で可決されました

第2部 研修会 14:10~16:30

1) 地区持ち回り研修

新庄地区 「新規受電設備の
コンデンサ容量の設定について」

佐藤 信也 会員

2) PCB 廃棄物の適正処理について

株式会社クリーンシステム

高橋 啓太 様

①PCB 基礎知識

②処理方法

③具体的な取り組み

④低濃度 PCB 助成金

3) 協会の現状について

専務理事 伊藤 克哉 様

1. 重点課題

2. 事故関係

3. 個別課題

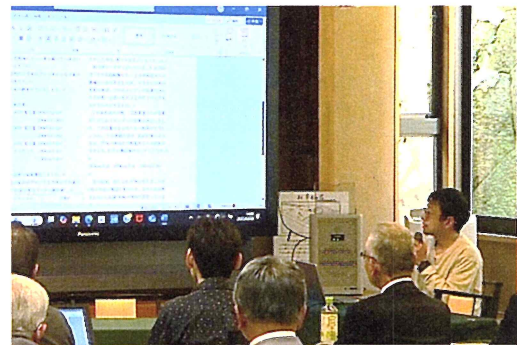
4. 事務局体制

第3部 懇親会 18:00~20:00

支部長挨拶 須貝 一彦 氏



新庄地区会員 佐藤 信也 氏



専務理事 伊藤 克哉 様



令和7年度 第2回山形県支部研修会

日 時 令和7年7月29日(火)

会 場 山形国際交流プラザ会務報告

13:30~16:30

1) 支部長あいさつ 須貝支部長

現在65名の会員に対し56名の主席者があり大変喜ばしい事です。この1年間で6名の方が退会し3名の方が正会員として入会された。賛助会員の入会者が滞っているため、募って頂きたい。

2) フリーランス・事業者間取引適正化等法についての講話

公正取引委員会東北事務総局

東北事務所フリーランス課 課長 斎藤 様

3) 会務報告

総務委員 千葉 吉春 氏

会費の一本化、支部の倫理規定について
技術安全委員 長沼 照幸 氏

電気使用安全月間重点点検について

広報委員 石山 昭人

会報140号と支部だよりの原稿依頼、
略称「電気かんり東北」について

研修委員 大久保 秀樹 氏(須貝支部長代弁)
新会員研修会の実施、本部主催定期研修会の開催予定について

他、新会員の早森敬氏と三宅亮輔氏の挨拶がありました。

4) 地区持ち回り発表

鶴岡地区「経験談、便利グッズなど」

石塚 岳敏 氏、板垣 清 氏、

菅原 俊一 氏



5) 協会の現状・課題等

専務理事 伊藤 克哉 様

現在の事務局体制など

令和7年度 第3回支部研修会

日 時 令和7年11月20日(木)

会 場 湯野浜温泉 KAMEYA HOTEL

第1部 研修会 13:40~16:00

1) ハラスメントに関する講習

株式会社TMC経営支援センター

山形営業所 所長 城下 亘 様

2) PCBに関する説明

内藤環境管理株式会社 大堀 重郎 様

3) 地区回り発表 山形地区 鈴木 文刀 会員

「豆知識コレクション」



第2部 臨時総会 16:00~16:20

令和8年、9年度支部役員体制について

「本部出向理事 栗田 浩二 氏」を推薦(留任)、
支部役員は支部規約 第13条により改選された。
候補者は、賛成多数により承認。役員名簿は
後日に配布。

第3部 報告、説明事項

1) 会務報告

技術安全委員 長沼 照幸 氏

電気使用安全月間重点点検の集計については
会報140号に掲載。波及事故の原因の一つで
ある短絡接地器具の取り外し忘れに注意。
矢崎ケーブルの短絡事故にも注意が必要。

総務委員 千葉 吉春 氏

会費一本化について、来年度の本部総会にて承認後、令和8年6月から施行を目論む

2) 山形県支部 倫理規定策定の中間報告

副支部長 千葉 吉春 氏

倫理規定（案）を配布。内容の検討を示唆。

3) その他

支部長 須貝 一彦 氏

県支部規約について、最新版を追ってメールにて配布（11月25日に配布済み）

燃料ペレット倉庫内



第4部 懇親会 18:00～22:00

施設見学会

日時 令和7年11月21日（金）

場所 鳥海南バイオマス発電所

社名 鳥海南バイオマスパワー株式会社

時間帯 10:00～11:40

施設概要 「表紙のことば」を参照

参加者 16名



見学内容 会議室にて施設の説明を頂いた後、小雨の中、以下の施設を見学しました。

燃焼ボイラー



燃料ペレット（東南アジアから輸入）



外観からの見学となり、タービン発電設備が格納されている施設棟内を見学することはできませんでした。庄内地区の世帯数分を賄えるほどの発電能力を有するという事で、一番のメインと思っていましたが残念です。

感想として、化石燃料からの脱却、原子力発電からの移行、自然エネルギーへの転換など、二酸化炭素排出の削減に絡めた安定的な電気エネルギーの供給は、様々な発電装置を屈指しながらも、まだまだ、試行錯誤中と感じた一日でした。

東北電力株式会社様のご厚意により見学会を開催させていただきました。御礼申し上げます。

第38回 令和7年度 本部定時総会

日時 令和7年5月28日(水) 13時30分

会場 青森県八戸 グランドサンピア八戸

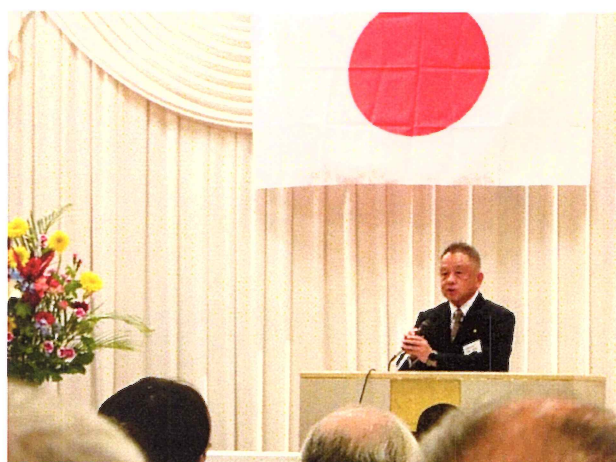
今回の定時総会は青森県支部が担当されました。

会員数 501名 出席者 142名 委任状 15名

書面評決 334名にて本総会は成立

開会の挨拶 会長 山田 洋司 様

2024年1月の能登半島地震、2025年9月の大雨、東日本大震災で被災され、未だに避難生活を余儀なくされている方々へのお見舞いと一日も早い復興の願いを述べ、日本の経済や電気エネルギーを取り巻く状況を述べられました。



第1号議案 専務理事 伊藤 克哉様

令和6年度事業報告 概要

本部・支部間総相互の連帯強化を図り、次の重点課題に取り組む

- 1) 会員数増加策の推進
- 2) 財務の基盤を強化・安定化
- 3) 理事会や委員会の運営改善
- 4) 電気事故撲滅の対策と継続

正会員数は501名に減り、また、事務局職員の退職並びに新規採用があった。物価の高騰や事業運営費の増加により、赤字脱却のために、会費の一本化と合わせて会費の値上げを検討中。双方、納得のいく意見を収集していく。

当協会が関わる電気事故は、9件で前年より5件増加した。波及事故防止の強化を図る。

他、各委員会開催報告、研修会および講習会報告、会計および監査報告等が行われた。

第2号議案 専務理事 伊藤 克哉 様

令和7年度事業計画(案) 概要

令和6年11月14日付けで電気事業施工規則の改正により、「保管管理業務訓練」を修了すると、実務経歴年数を2年に短縮できるようになった。重点課題は、令和6年度と同様とし、適切な情報・サービスを提供できるように運営していく。

質疑

○「表彰は、どのようにして決めているのか」の質問があり、山田会長より、配布しているCDの中にも表彰規程があるので確認をお願いしたい。また、表彰の選出は、支部長経由となっている。

○「福島県支部で10名の自己都合による退会者がいるが、理由や当会や支部への影響はないのか」の質問があり、山田会長の返答は、同支部であるが、理由は不明。個人的な問題と捉えている。

○「会費の一本化や他協会の状況を踏まえると行政書士の介入は不要ではないか」の質問があり、伊藤専務理事の返答は、行政書士法に基づいたものである。

山形県支部での表彰者は、4名の会員です

◇(一社)日本電気協会 東北支部

永年従事功労者表彰(令和6年5月22日)

No.463 若月 良信 氏

◇業績者表彰(10年) No.839 星川 浩 氏

◇功績者表彰(20年) No.662 後藤 長生 氏

◇功績者表彰(30年) No.369 三品 武 氏

残念ながら当支部の表彰者の方々は欠席でした。



令和8年の本部定期総会は秋田県になります。

~~日時は5月27日(水)に予定されております。~~

5月28日(木)に変更になりました。

令和7年度 定期研修会

日時 令和7年9月25日(水)

会場 山形県天童市 天童ホテル

時間 13:00~17:15

研修対象者 山形県・宮城県支部 全員

出席率 88%

山田会長の挨拶では、まだまだ暑い日が続いている。お体に気を付けていただき業務を遂行して頂きたい旨のお話がありました。電気主任技術者の人材不足により、令和7年10月からスマート保安技術を活用した設備により、3ヶ月に一回の月次点検にする外部委託制度の見直しがある。課題が山積みであり、高圧ケーブルの事故や協会運営など、研修会等での情報の共有化が必須である。

本多研修委員長からは、定期研修会の目的の口上がありました。外部講師は、二社。当協会からは、二名の方の経験談、伊藤専務理事から「電気事故報告規則」についての講習が行われました。

・高圧配電線の系統構成と保護協調について

講師 東北電力ネットワーク株式会社

・スマート保安について

講師 株式会社戸上電機製作所

・電気事故報告規則について

専務理事 伊藤 克哉 様

速報は、事故の発生を知ってから24時間以内

詳報は、事故の発生を知ってから30日以内

協会ホームページに速報様式が掲載あり

事故の定義は

- ・感電死傷(死亡または入院した場合)
- ・電気工作物の破損
- ・電気工作物の誤操作や操作不備
- ・電気工作物による火災

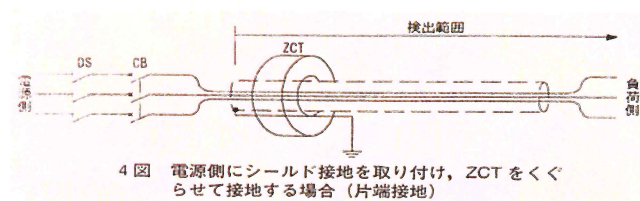
・体験談1

山形県支部 研修委員 大久保 秀樹 氏

「シールドアースのZCTくぐし忘れによる地絡
継電器の不作動」

高圧送出しケーブルのシールドアースを正しく
ZCTにくぐさないとGRが作動しません。

以下の図を参考に再確認してください。



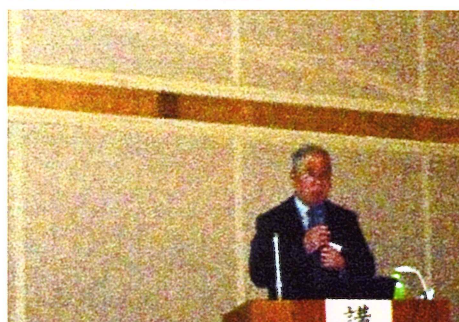
・体験談2

宮城県支部 研修委員 永澤 俊一 氏

「保安全管理開始初日の事業場の停電による火災」

東北電力変電所の停電があった。復電直後に業務開始日の事業場の保安電灯盤の内部から煙があがったという。原因は、非常用発電機のダブルスロー装置が切り替わらずコイルに電流が流れ続けたためと判断された。消火器で鎮火させ大事には至らなかったようだ。前任の電気保安法人から指摘があったにも関わらず改修されていなかったのが要因だ。

やはり、改修の呼び掛けは、絶えず行わなければならないと思うところです。



支部会員の動き

正会員入会・退会

NO	区 分	地 区	氏 名	会員番号	日 付
1	入会	新庄地区	早森 敬	1075	6/11
2	入会	山形地区	三宅 亮輔	1077	7/1
1	退会	山形地区	田中 均	471	3/31
2	退会	山形地区	八島 紀久男	572	3/31
3	退会	山形地区	菊地 豊	817	3/31

賛助会員入会・退会

NO	区 分	地 区	氏 名	会員番号	日 付
1	入会	山形地区	大波 賢司	S1769	11/12
1	自己都合	酒田地区	飛塚 佳亮	S1659	5/12
2	退会正会員へ	新庄地区	早森 敬	S1722	6/10
3	退会正会員へ	山形地区	三宅 亮輔	S1680	6/30

広報委員からの連絡

令和7年10月1日に山田会長名で通達のありました略称「電気かんり東北」について更なる認知度向上を目的として制定されました。協会ホームページ「会員ページ」に掲載されておりますので、個人の判断にてダウンロードしてご活用ください。



電気かんり東北

(ロゴは、3パターンありますが、そのうちの1パターンです)

**** あとがき ****

今年の干支は「午年」。干支のいわれは前進・飛躍・繁栄など縁起の良い年とされています。皆様のより一層のご活躍をご祈念いたします。

最後に支部だよりの作成にあたり、投稿およびご協力くださいました方々に深く感謝申し上げます。今後も支部の活性化のためご協力くださいますようお願いいたします。

編集責任者 広報委員 石山 昭人

会員数(R7年12月31日現在)

正会員数 65名

個人賛助会員 9名

企業賛助会員 5社

支部だより No.67

令和8年1月15日 発行

(一社)東北電気管理技術者協会
山形県支部

〒990-0863

山形市江南四丁目10番14-10

TEL 023-665-1070

FAX 023-665-1070

Eメール info@eme-yamagata.com